

氏家小学校

学校運営協議会だより



令和7年2月26日 氏家小学校学校運営協議会



第3回学校運営協議会を行いました

令和7年2月21日(金)に、氏家小学校図書室において第3回学校運営協議会を開催しました。今年度のまとめとなるこの会では、学校評価や学校運営協議会としての一年間の取組を踏まえて、成果と課題を話し合いました。



◆令和6年度学校評価について

学校教育目標の達成に向けて、今年度は、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や体験活動、児童の主体性を活かした特別活動を推進するなど、様々な教育活動に取り組んできました。学校評価や教育活動に関して、学校運営協議会委員としての意見は次のとおりです。(一部紹介します)

- ・学校評価として、細かく評価が行われている。教職員の努力の様子が分かる。
- ・図書室の貸し出し冊数が増加していたり、すき間読書を推進したりしていて、学校ではよく本を読んでいることが分かる。家庭での読書が課題であるので、親子で読書をする機会をつくりたい。
- ・SUNさんサポート隊Jrの取組がとてもよい。ボランティアの気持ちが育っている。
- ・SNSの使い方や情報モラル等の指導は重要である。リスクを判断できる年齢として、SNSの使用は小学生は早すぎると感じる。
- ・登校時の挨拶は、できる子とできない子の差が大きい。上学年が率先して挨拶すればできるようになると思うので、上学年の役割として、登校班で連れてくることだけでないことを教える。
- ・氏小っ子ルールを作成するあたり、なぜそうなのかを説明することが大切である。時と場に応じた見た目も大事である。学校の中で、ルールを教えていく必要がある。

学校からは「この学校評価により、明らかになった氏家小学校のよさや改善すべきところを、次年度の『学校教育目標達成のための努力点・具体策』策定や手立ての設定に活かし、さらによりよい学校をめざしていきます」との返答がありました。

◆令和7年度の熟議について

次年度も「読書活動の推進について」と「下校見守りについて」の2つのテーマで取り組んでいくことになりました。

朝の読み聞かせや児童が図書室を利用している場面、下校している場面に立ち会いながら、活動をさらに活性化していきます。

